

カキ生育情報

千葉県
平成21年10月号

【9月の気象】

平均気温は、平年に比べ第6半旬が0.9 高く、第1～5半旬で0.1～2.6 低かった。月平均気温は21.5 で平年に比べ1.5 低かった。

降水量は、平年に比べ第3半旬が39mmで平年より10mm多かったが、その他の半旬は少なく推移し、特に第1、2、4、5半旬は0～4mmと少なかった。月合計降水量は87mmで平年に比べ160mm(65%)少なかった。

日照時間は、平年に比べ第4～6半旬が7～10時間多く、第1～3半旬は2～8時間少なかった。月合計日照時間は161時間で平年に比べ15時間(10%)多かった。

表1 平成21年9月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温()		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月	1	22.5	25.1	1	27	24	31
	2	22.4	24.5	0	44	26	28
	3	21.1	23.7	39	29	22	25
	4	20.1	22.7	4	39	32	22
	5	21.5	21.6	0	47	30	20
	6	21.3	20.4	44	60	27	20
合計/平均		21.5	23.0	87	247	161	146

【樹及び果実の生育】

暖地園芸研究所では、西村早生の収穫は9月17日に始まった。昨年と同程度であった。収穫盛期、終期とも平年並になりそうである。果実の縦・横径は昨年及び平年よりも大きかった。収穫した果実はスジ果の発生が少しみられたが、病害虫の被害はほとんどみられなかった。松本早生富有は9月下旬に着色が始まった。果実の縦径は昨年と同程度で、横径は昨年よりやや小さかった。収穫時期も平年並になると予想される。富有は9月下旬の時点で着色は始まっていない。果実の縦・横径は昨年よりも大きかった。着色が昨年よりも遅いので、収穫は昨年よりやや遅くなると予想される。

いすみ市の西村早生の果実縦・横径は昨年より大きかった。収穫は9月19日より始まり、10月上旬には収穫盛期となると予想される。また目立った病害虫の発生はなかった。

市原市の松本早生富有の果実の縦径は昨年と同程度であったが、横径は昨年よりも大きかった。9月下旬時点で着色が始まっている。また落葉病、カキノヘタムシガの被害が散見された。

表2 果実の発育（平成21年9月30日）

品種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果径指数		
		本年	昨年	平年 ¹⁾	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
西村早生 ²⁾	いすみ市	7.7	7.3	-	5.4	5.3	-	1.43	1.38	-
	暖地園研	7.9	7.6	7.7	5.7	5.5	5.5	1.40	1.38	1.40
松本早生富有	市原市	6.9	6.6	-	4.6	4.6	-	1.50	1.43	-
	暖地園研	6.9	7.1	7.4	5.2	5.2	5.3	1.34	1.36	1.39
富有	暖地園研	7.0	6.8	7.2	5.5	5.1	5.4	1.27	1.33	1.32

注1) 暖地園芸研究所における平成2年から19年間の平均値

2) いすみ市における西村早生のデータは9月に収穫した果実データ

【10～11月の作業の要点】

収 穫

中生、晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認しておく。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調整作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。松本早生富有、次郎、富有などの中晩生品種では、10月中下旬までに速効性肥料で施用する。窒素の成分で、2～3kg/10aが適当である。

病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降（休眠期）でよい。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所果樹研究室

TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>